令和８年度
神奈川県大学バレーボール選手権大会
開催要項

主催：神奈川県大学バレーボール連盟
共催：(一財)神奈川県バレーボール協会
主管：神奈川県大学バレーボール連盟

Ⅰ：試合日程及び運営

１、開催期間及び会場　　令和８年　１１月　７日（土）

会場：神奈川大学横浜キャンパス 13 号館体育館

２、大会運営　　加盟各校学連員を中心に大会を円滑に行うように心がけること。

３、開閉会式　　開会式：実施しない。(※９時より代表者会議を行います)

閉会式：全試合終了後に実施する。

４、流行性疾患及び

災害時の対応　・新型コロナウイルス感染症対策として大会関係者は各チームで体調の管理をすること。

・インフルエンザ・コロナウイルス等の流行性疾患発症の場合は速やかに学連に報告すること。

・多数のチームで多数の選手・スタッフが発病している場合や災害等が発生している場合は、学連がチーム状況を充分に把握したうえで、延期や中止するか否かを判断する。

Ⅱ：大会参加資格

１、チーム参加資格　（下記の条件を満たしていること）

・令和８年度 神奈川県大学バレーボール連盟加盟校および登録者であること。

・本大会にエントリーされていること。

２、大会出場の選手

スタッフ手続き　・スタッフ、選手はエントリー届に基づきプログラムに記載されていなければならない。

・スタッフ、選手のエントリー人数は部長(当該大学教職員)、監督、コーチ、トレーナー、マネージャー(当該大学生)各１名、選手のエントリーは　９９人までとする。

・部長以外のスタッフを変更する場合及びプログラムに記載されていない選手をエントリーする場合は、大会当日の第１試合開始前までに本部に臨時役員変更届またはエントリー変更届を提出し、許可を得て構成メンバー表に記載されていることで変更手続きが完了する。また、選手でエントリーされている人がスタッフを行う際も、同様に臨時役員変更届を提出すること。

III：大会申し込み手続き

1、エントリー　　締切り日【２０２６ 年１０月１９日（月）１８時まで】

2、年度登録料　　今年度のリーグ戦に不参加であった大学は、大会参加に先立ち令和８年度登録料を支払うこと。

年度登録料は１０，０００円とする。

3、大会参加料　　原則としてエントリー締め切り期日までに振込みを完了すること。

参加料は１チーム７千円とする。

4、写真について　　全チームユニフォーム着用にて集合写真を撮影すること。

撮影に際しては番号が確認できるように撮影すること。

IV：競技・審判

1、競技規則　　本大会は 2026 年度公益財団法人日本バレーボール協会 6 人制競技規則による。

2、競技方法　　・男子、女子ともにトーナメント戦とする。

・全試合３セットマッチとする。※今大会の３セット目は１５点制とする。

・３位決定戦を行う。

・全試合３ボールシステムで行う。

3、競技開始時刻　　入場可能時刻、試合開始時刻は以下の通り設定する。

入場可能時刻　　０８：３０

代表者会議　　０９：００

第１試合開始時刻　０９：３０

・プロトコール（公式練習）は設けない。

・チームが正当な理由なしに定められた時間までに選手が６人以上競技場に現れない場合は不戦敗となる。

4、試合使用球　　本大会の使用球は下記とする。

男子・・・ミカサ製カラーボール（V300W）

女子・・・モルテン製カラーボール（V5M5000）

5、組合せ　　試合組合せは今年度リーグ戦の４位までをシードとし、抽選は 10/ 31(土)に学連委員会にて行う。

6、審判　　補助に当たるチームは出来る限り審判資格取得者が主審・副審を担当する。

7、競技選手・スタッフメンバー提出

(1) 試合当日のコンポジションシートの提出について

① エントリーする１８名（選手１４名+ベンチスタッフ４名）を構成メンバー表に青ペンで記載し、本部へ提出すること。

② 第１試合は代表者会議のときに本部受付へ提出すること。

③ 第２試合目以降は前の試合開始後に提出すること。

④ 構成メンバー表提出後の変更は認めない。

⑤ 部長以外(監督・コーチ・トレーナー・マネージャー)のスタッフを変更する場合は臨時役員変更届にて学連担当者に申し出ること。

⑥ 部長はチームスタッフではないため監督･コーチ･トレーナー･マネージャーとしてベンチに入ることはできない。但し、部長とチームスタッフを兼任している場合はチームスタッフとしてベンチに入れる。部長としてベンチに入る者はチームスタッフとしての行為はできない。

⑵ 正規の競技者とリベロ競技者の人数割りについて

１３名以上選手エントリーするときは２名のリベロ・プレーヤーを登録しなければならない。

⑶ 学生以外のスタッフについては、男女同一大学の試合当日のベンチ入りスタッフを兼任することを認める。但し、男女同一大学の試合時間が重複した場合は男女どちらか１つのチームにエントリーを行うこと。

８、選手交代手順

・各セット開始前に提出されたラインアップシートの変更は、セカンドレフェリーがスコアラーに手渡した後は認められない。

・交代する選手はサイドライン上でセカンドレフェリーの指示に従い合図によって交代する。尚、複数の選手交代の場合はセカンドレフェリーの指示に従うこと。

９、選手・スタッフの途中参加

・選手・スタッフの試合中の途中参加はその都度できる。

(遅れる場合は事前に審判・学連委員に申し出ること。)

１０、試合時のベンチ

・ウォーミングアップのネット及びボールの使用を認める。ただし、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパーを配置すること。

・ボールカゴ及び部旗等は競技エリア外へ出し、当該コートのフリーゾーンの端に置くこと。部旗は壁に立てかけず、床に倒して置くこと。

・ベンチには飲料水、救急用具等の最低限の必需品以外を持ち込まないこと。

・感染症対策として、タオル・ボトル・アイシングバッグは共用を禁止する。

１１、ユニフォームについて

・ユニフォームナンバーの大きさは、胸部側は高さが１５㎝以上、背部側は高さが２０㎝以上であり、文字幅は２㎝以上のものでなければ着用を認めない。

・ユニフォームのナンバーの色はユニフォームと対照的な色（はっきりと区別がつく色）と明るさでなければならない。

・チームキャプテンは高さ８㎝、幅２㎝のユニフォームと異なった色のキャプテンマークを腹部の番号の下に明瞭に付けること。

・ソックスについては長さと色を統一し、ベリーショートソックスのようなくるぶしが見える短いソックスは認めない。

・アンダーウォーマー、スパッツ及びコルセットについてはユニフォームの下に隠れるように着用し、外部に露出しないように注意すること。（膝関節の医療用装具を除く。）

・リベロの着用するユニフォームは、他の競技者とはっきりと区別がつく色（対照的な色）でなければならない。（例：競技者の胸の部分が紺色で袖の部分が白色の場合、リベロの胸の部分が白色で袖が紺色のような反対デザインのものは禁止とする）

・リベロと他の競技者とのユニフォームの色が共に２色以上を用いる場合、それぞれが同色を用いないように注意すること。

・エントリー届提出後、大会期間中はユニフォーム番号の変更は原則として認めない。但し、やむを得ない事情がある場合は第１試合開始前までにエントリー変更届に記入して許可を得ること。

・１選手の重複番号の使用は認めない。また、１つのユニフォーム番号につき１選手とする。使用するユニフォーム番号は 1～99 番とする。

１２、リベロ・プレーヤーの取扱いについて

・リベロが負傷や病気、退場、失格等によりプレーの続行が出来なくなった時は監督または監督が不在の場合はゲームキャプテンが、いかなる理由であってもプレーできなくなったことを宣言することができる。

・リベロがプレーできなくなったと宣言されたときは監督（監督不在の場合はゲームキャプテン）が、ファーストレフェリーの許可を得てベンチ入りしているプレーヤーをリベロとして再指名することができる。（リベロと交代してベンチに戻っている競技者を除いて、ベンチにいる競技者であれば誰でも良い）。

・リベロと再指名されたプレーヤーはその試合終了までリベロとしての登録となり、もとのプレーヤーには戻れない。

・２人のリベロが記録用紙に記入されているチームはそのうちの１人がプレーできなくなってもリベロ１人で試合をすることができる。再指名は認められないがもう一人のリベロも試合でプレーの続行ができなくなった場合は他の選手を試合終了までリベロとして再指名することができる。

・再指名されたリベロもプレーが出来なくなった場合は更にリベロを再指名することができる。

・監督がセカンドレフェリーに、口頭で「リベロの再指名」を要求する。そのときリベロと再指名される競技者は、リベロ・リプレイスメント・ゾーンに準備をして立っていなければならない。

（再指名された競技者はビブスを着用するか、リベロと同じユニフォームを着る）しかし、ユニフォーム番号は登録者自身の登録番号と同じものを着用する。

・リベロがコート上にいるときでも再指名をすることができる。

・セット間にリベロの再指名をしたいとき、監督はリベロを再指名することを副審に伝える。

・リベロとして再指名された選手はその試合を通してリベロとして試合に出場し、プレーすることができる。再指名されたプレーヤーは、その試合終了までもとのプレーヤーに戻ることはできない。正規にチームに登録されていたリベロはその試合終了までプレーヤーとしては戻れない。

１３、ワイピング行為について

・クイック・モッパーは当該チームから２名まで配置することができる。服装はユニフォーム・スタッフウェア以外の統一されたもので行う。

・クイック・モッパーがいない時は、アップゾーンの選手が行うことができる。

・試合開始前、タイムアウト及びセット間におけるワイピングはベンチの控え選手またはクイック・モッパーが必ず行うこと。

・クイック・モッパーが応援及びチームのマネージメント行為（ドリンク、アイシング作り等）をすることは一切禁止とする。それらの行為はチームに対しての警告となる。

１４、競技全般の不法行為の取扱い

・2026 年度（公財）日本バレーボール協会 6 人制競技規則による。

・不法な行為については、同一人物の同一試合での繰り返し行為には、累進的な制裁受ける。

・「非スポーツマン的行為」及び「不作法な行為」については、そのプレーヤー・スタッフに対し、試合全体を通して罰則が与えられる。「攻撃的行為」については、１回目で失格とする。

１５、試合前の待機中のチームについて

・試合終了後の挨拶が終了するまでフロア外に待機すること。

１６、部長・チームスタッフについて

・当該大学生以外の場合、部長･マネージャー以外の全ての役職を行うことができる。

・部長は当該大学の教職員でなければならない。

・部長・監督は原則として季節に応じた正装とする。ただし、ネクタイは不要とします。

・コーチ・トレーナー・マネージャーは原則として季節に応じた統一された服装とする。

短パン、ハーフパンツ等は原則として許可されない。※部長・監督がトレーニングウェアを着用する場合はスタッフ全員が統一されたものを着用すること。ランニングシャツ等は不可とする。

・試合中の中断の要求ができるのは監督とゲームキャプテンだけである。

・監督が試合中に妨害あるいは遅延を行わない限り、自チームベンチ前のアタックラインの延長線から競技コントロールエリアのコーナーにあるウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で立ちながらでも歩きながらでも指示を出すことができる。

・レフェリーの判定に対するアピールや抗議、監督自身がライン判定をする行為を禁止する。この行為は制裁の対象となる。

・試合中、相手チームに対して、選手を牽制するような言動は認められない。（相手チーム選手の番号や名前を特定する行為）このような行為は制裁の対象となる。

・部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーは役員章(部・監・Ｃ・Ｔ・M)を分かる所に付けなければベンチに入ることができない。

１７、学生補助役員

・学生補助役員は１５名（主審１名、副審１名、スコアラー１名、リベロチェック１名、ラインジャッジ４名、点示１名、ボールリトリバー６名）で行う。

・ラインジャッジはレフェリーの一員として正確なジャッジをすること。

・点示員は試合を観戦することなく正確な得点表示をすること。

・ボールリトリバーは、ラリー中は中腰姿勢を維持すること。座り込んだり・注意散漫になったりしないこと。ボールをサーバーに渡す時以外は投げずに、迅速に床に転がし試合の運営に当ること。サーバーにボールを渡すリトリバーはインプレー中ボールを保持すること。

・人数が不足する場合は、第１試合開始前までに本部に申告すること。

・チームで統一された服装（ユニフォーム可）で行い、任務を遂行すること。

１８、表　彰

チーム賞（優勝杯・準優勝・第３位）

個人賞（最優秀選手賞・ベスト６・リベロ賞）

Ｖ：会場使用上の注意

・横断幕等を貼る際には各会場の注意事項に従い適切に行うこと。

・会場で出たごみは各チーム(各自)責任をもって持ち帰ること。会場にごみを放置したまま帰る等の行為は禁止する。会場や駅など会場周辺のごみ箱は使用しない。

・電源使用は注意事項を確認すること。無断で電源使用をしているチームが発覚した場合、メディアごと本部にて回収する。

・喫煙については喫煙所以外での喫煙を禁止とし、指定場所以外での喫煙を目撃した場合は該当チームを出場停止処分とする。チーム内で必ず徹底すること。

・貴重品等の盗難に関して当連盟では一切の責任を負わない。各チーム荷物の管理は徹底すること
また、忘れ物・紛失物に関しては会場本部にて管理する（大会開催中のみ）。貴重品以外の忘れ物・遺失物は大会終了時に処分する。